



かんたんご利用ガイド

木造矩計図・断面図

1 矩計図の作成の流れ	1
2 切断位置の指定と矩計図の作成	1
3 断面図の作成の流れ	3
4 断面図の作成	3
5 矩計図、断面図の印刷	4

本マニュアルは、ARCHITREND ZERO Ver.4で制作しています。
お使いのプログラムと一部画面と操作が異なる場合があります。

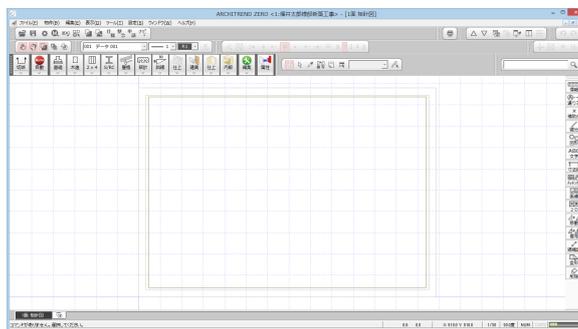
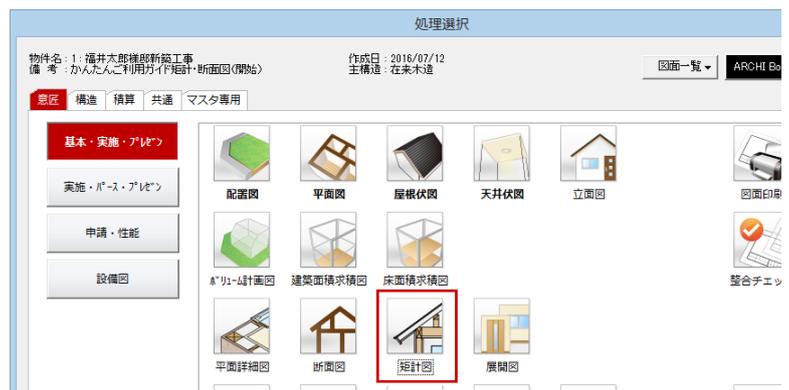
1. 矩計図の作成の流れ

矩計図は、平面図、天井伏図、屋根伏図、配置図の基本図面のデータを基に切断位置を指定して作成します。



では、矩計図を開いて作図しましょう。

ここでは、基本図面は作成済みとします。

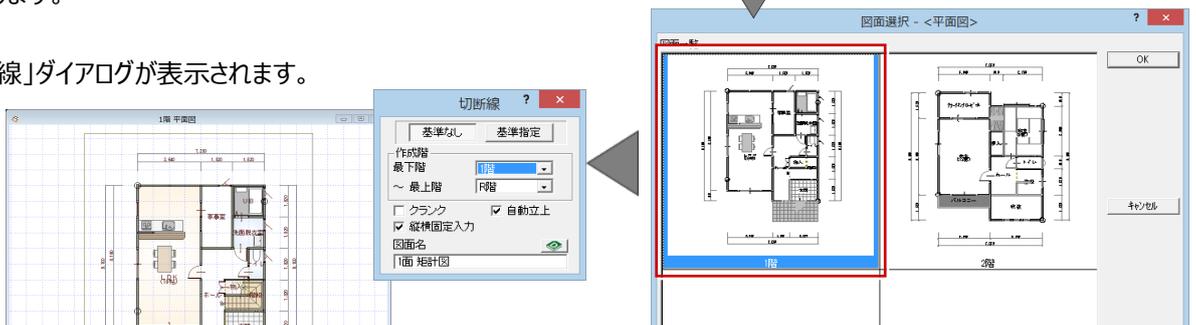


2. 切断位置の指定と矩計図の作成

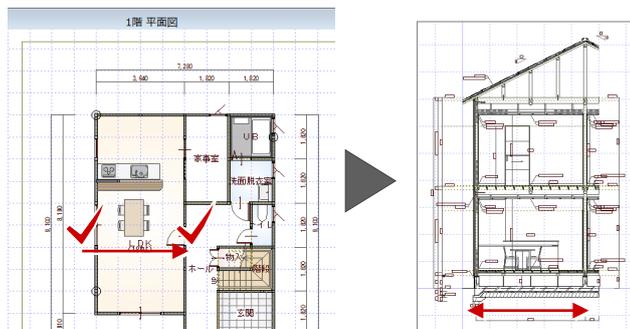
まず、切断位置を指定します。

専用ツールバーの「条件設定」をクリックして、参照する平面図を選択します。

平面図と、「切断線」ダイアログが表示されます。



「作成階」などを確認して、切断位置の1点目、2点目をクリックします。

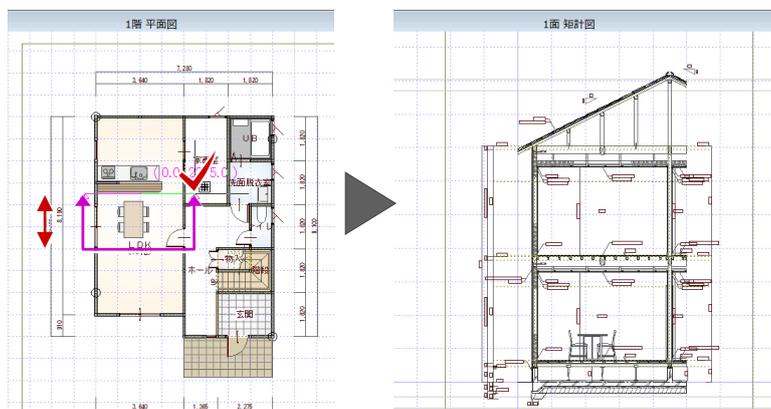


2点目の位置によって、作成する矩計図の切断面の距離が変わります。

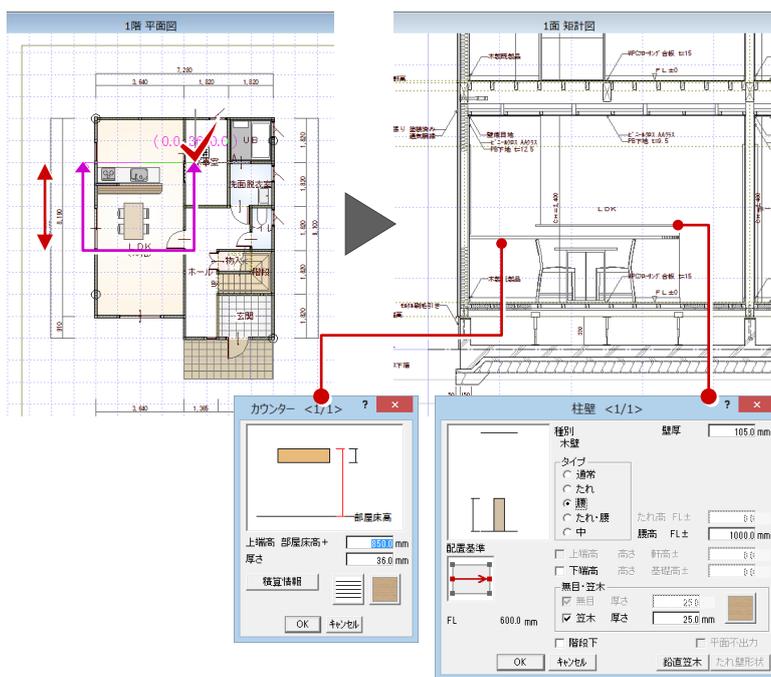


3点目は、見えがかりの方向と範囲を指定します。ここではダイニングテーブルまで含めた範囲を指定します。

指定した範囲の矩計図が自動作成されます。



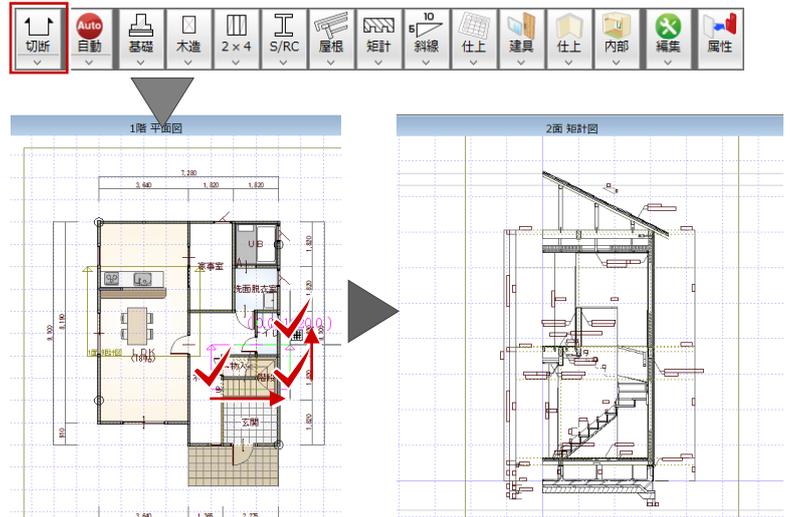
例えば、切断位置の指定で、3点目をシステムキッチンを含めた範囲まで指定すると、矩計図にはカウンターや腰壁も描画されます。



作成した矩計図を残して他の切断面の矩計図を作成する場合は、「上図面へ」をクリックします。



新しい図面が開いたら、同様な手順で切断位置を指定して作成します。

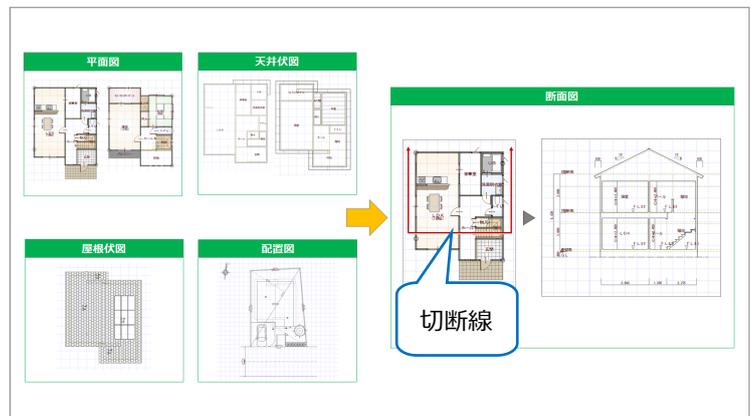


以上が矩計図の作成手順になります。

3. 断面図の作成の流れ

続けて、断面図の作成について解説します。

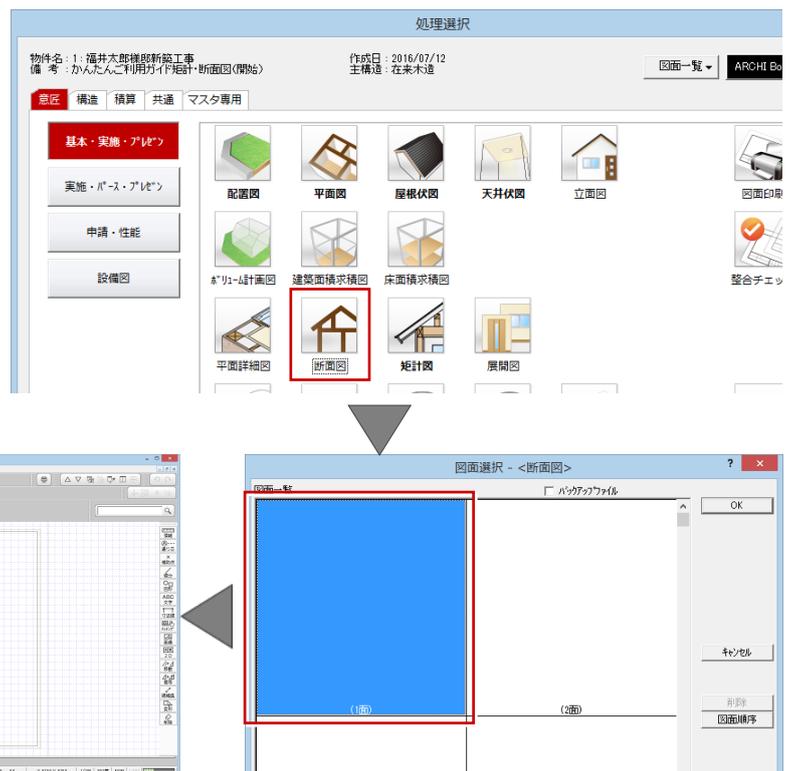
断面図も矩計図と同様に、平面図、天井伏図、屋根伏図、配置図の基本図面のデータを元に切断位置を指定して、作成します。



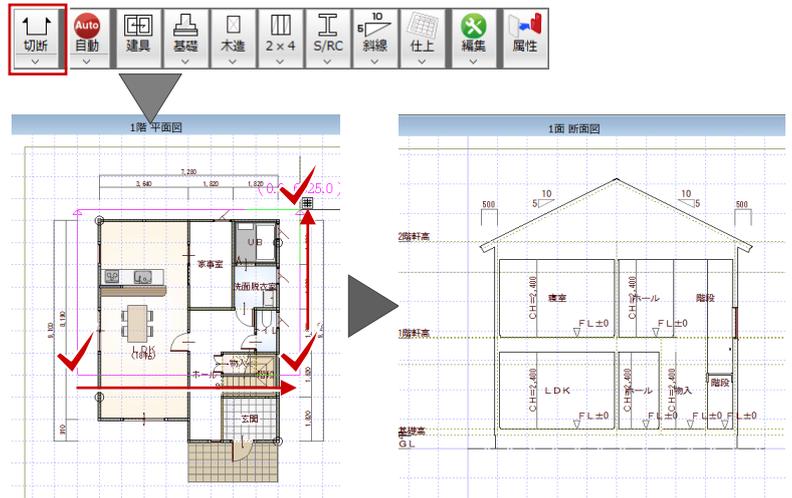
4. 断面図の作成

作成手順も、矩計図と同様です。

断面図の1面を開いて、「条件設定」をクリックし、参照する平面図を選択します。



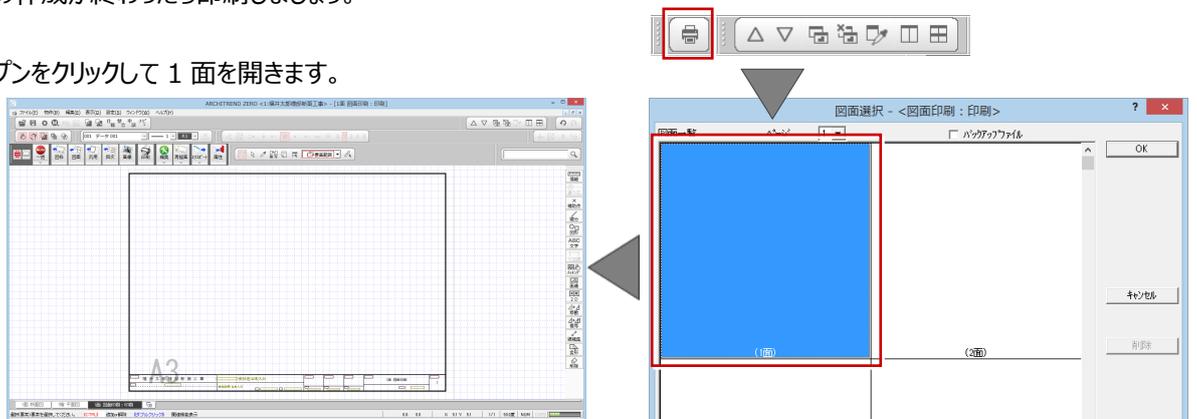
切断位置の1点目、2点目、3点目と指定して、断面図を作成します。



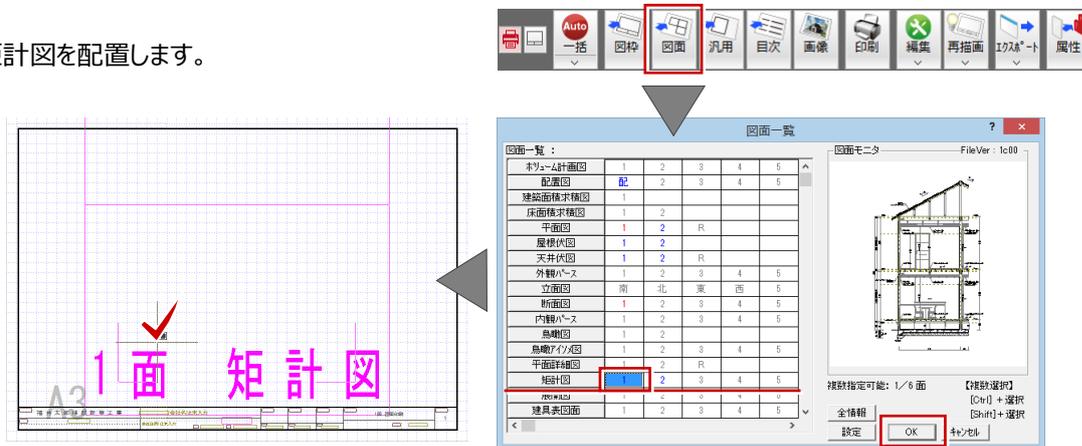
5. 矩計図、断面図の印刷

矩計図、断面図の作成が終わったら印刷しましょう。

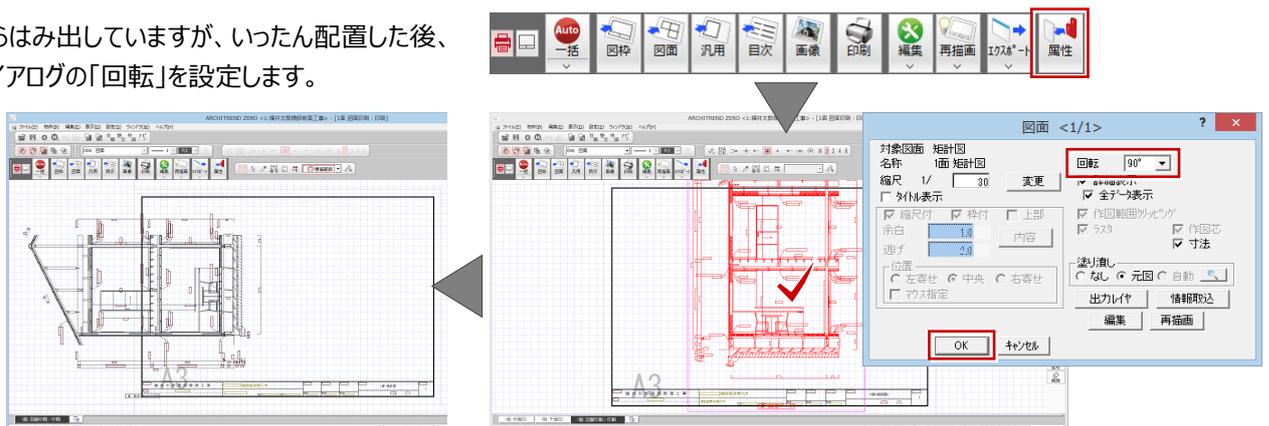
「図面印刷」オープンをクリックして1面を開きます。



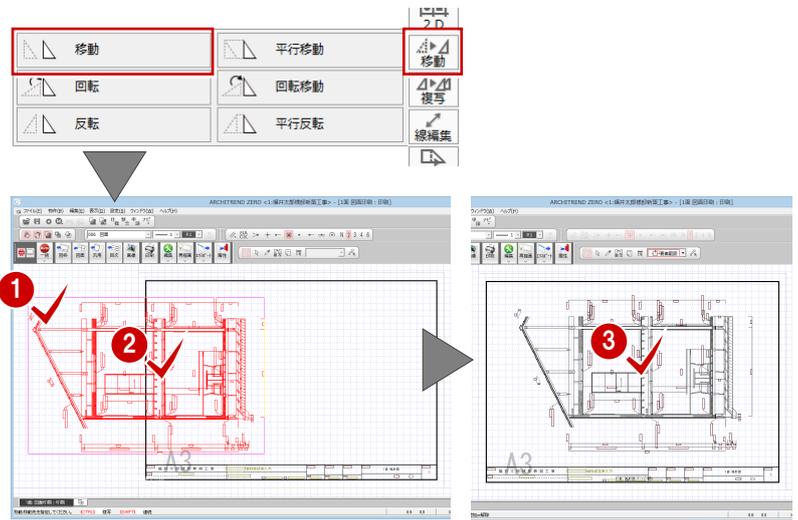
ここでは矩計図を配置します。



用紙枠からはみ出していますが、いったん配置した後、「属性」ダイアログの「回転」を設定します。



矩計図を移動して枠内に配置します。



以上で、矩計図、断面図の説明を終わります。

より詳細な操作内容を確認する場合には、教材動画のご利用をご検討ください。